



平成30年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社ボルテージ
コード番号 3639 URL <http://www.voltage.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 津谷 祐司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部管轄 (氏名) 松永 浩

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 平成29年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第1四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	1,866	24.4	523		526		392	
29年6月期第1四半期	2,469	11.2	51		62		57	

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 391百万円 (%) 29年6月期第1四半期 61百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	76.83	
29年6月期第1四半期	11.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第1四半期	4,250	3,293	77.5
29年6月期	4,429	3,736	84.4

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 3,293百万円 29年6月期 3,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		10.00	10.00
30年6月期					
30年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年6月期の配当予想は未定としております。

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	13.4	300	112.5	300	89.0	190	684.1	37.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期1Q	5,197,774 株	29年6月期	5,197,774 株
期末自己株式数	30年6月期1Q	91,581 株	29年6月期	91,528 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期1Q	5,106,193 株	29年6月期1Q	5,104,242 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続く中で、企業収益は改善しました。また、個人消費は、消費者マインドが持ち直しており、実質総雇用者所得も緩やかに増加するなど、緩やかに持ち直しております。

このような環境の中、モバイルコンテンツ業界においては、平成29年6月時点の日本国内の15歳から69歳の男女におけるスマートフォン所有者は推計74.7%となっており、その内の約54%がスマートフォンゲームを利用しております(注1)。

当社グループにおきましては、当第1四半期連結会計期間より、「日本女性向け」「英語女性向け」「その他」の3区分で事業を運営しております。

当第1四半期連結累計期間における売上は、「英語女性向け」が増加したものの「日本女性向け」が大幅に減少し、1,866,538千円(前年同期比24.4%減)となりました。費用は、広告宣伝費が大幅に増加したものの、売上減少に伴う販売手数料の減少や制作及びシステム外注費の減少等があり、若干減少しました。その結果、営業損失は523,834千円(前年同期は営業損失51,314千円)、経常損失は526,506千円(同 経常損失62,681千円)となりました。また、今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討を行った結果、税務上の欠損金にかかる繰延税金資産を計上することとしました。それに伴い法人税等調整額を含む法人税等△142,438千円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は392,301千円(同 親会社株主に帰属する四半期純損失57,516千円)となりました。

事業区分別の業績は、以下の通りであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、事業区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の事業区分に組み替えて比較しております。

①日本語女性向け

日本語女性向けは、「恋愛ドラマアプリ」「シークドラマ(注2)」「チームドラマ(注3)」「モーション(注4)」及び「パズルアクションゲーム」が該当します。

主に「恋愛ドラマアプリ」の減少が続き、売上高は1,407,058千円(前年同期比32.0%減)となりました。

②英語女性向け

英語女性向けは、「L10N(注5)」「DRAGON(注6)」及び「US REAL(注7)」が該当します。

主に「DRAGON」が大幅に増加したことにより、売上高は432,829千円(前年同期比32.9%増)となりました。

③その他

その他は、「男性向けサスペンス」のほか、VR・AR技術を用いたコンテンツや、アニメ・IP展開(グッズ・イベント等)が該当します。

「男性向けサスペンス」が減少したことにより、売上高は26,650千円(前年同期比65.2%減)となりました。

- (注) 1. 出所：株式会社セガゲームスゲームスタイル研究所「スマートフォン利用動向調査2017年6月」2017年9月19日発表
2. シークドラマ：「ダウト～嘘つきオトコは誰?～」の仕様をベースに制作されるコンテンツ。従来の恋愛ドラマアプリとは一線を画し、ストーリーだけでなく調査や審判等の要素を持つ
3. チームドラマ：ユーザーが主人公となりキャラクターとの恋愛を楽しむ恋愛ドラマアプリと異なり、キャラクター同士で展開するストーリーを楽しむコンテンツ
4. モーション：株式会社ボルモで制作するモーションタイプのコンテンツ
5. L10N：北米市場向けアニメ絵であり、日本語版恋愛ドラマアプリを翻訳したコンテンツ。Localizationを意味する省略表記
6. DRAGON：北米市場向けアニメ絵であり、北米市場向けに作ったコンテンツ。北米向けにアレンジされたドラゴンロール寿司に由来。対ユーザー呼称AmeMix(アメミックス)
7. US REAL：北米市場向けリアル絵のコンテンツ

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、4,250,810千円（前連結会計年度末比178,857千円減）となりました。

流動資産は、3,147,122千円（同258,934千円減）となりました。その主な要因は、収益の減少及び外国債券の購入等による現金及び預金の減少348,190千円によるものであります。

固定資産は、1,103,687千円（同80,077千円増）となりました。その主な要因は、外国債券の購入等による投資その他の資産の増加120,721千円によるものであります。

(負債の部)

負債合計は、957,181千円（同264,101千円増）となりました。

流動負債は、957,181千円（同264,101千円増）となりました。その主な要因は、広告出稿増加等による未払費用の増加203,473千円によるものであります。

(純資産の部)

純資産は、3,293,629千円（同442,958千円減）となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払等による利益剰余金の減少443,363千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、平成30年6月期第2四半期以降も、引き続き「3年戦略（平成29年6月期から平成31年6月期）」に基づき事業を運営してまいります。

平成29年6月期は、構造改革期のため集客及び新規タイトル制作を抑制していましたが、向かうべき方向が決まったため、今後は積極集客及び新規タイトル制作の再開、イベント・グッズ・アニメ展開を行ってまいります。具体的には、以下の取り組みを行ってまいります。

[新規タイトル制作]

2年振りとなるカジュコア向け完全新作や、「100シーンの恋+」「Lovestruck」等の既存アプリ内の新作、またL10Nタイトルを集約した読み物アプリ等の制作を行ってまいります。

[イベント・グッズ・アニメ展開]

「恋愛ドラマアプリ」10周年を記念したイベントや、「アニメイトガールズフェスティバル2017」におけるグッズ販売、また「天下統一恋の乱 Love Ballad」を原作とした短編アニメーションの制作を行ってまいります。

以上により、平成30年6月期の連結業績予想は、平成29年8月14日付の「平成29年6月期 決算短信[日本基準]（連結）」で公表した内容から変更なく、売上高10,000百万円（前期比13.4%増）、営業利益300百万円（同112.5%増）、経常利益300百万円（同89.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益190百万円（同684.1%増）を見込んでおります。今後予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,132,425	1,784,235
売掛金	1,130,273	1,095,902
前払費用	99,886	91,313
繰延税金資産	24,704	169,966
その他	19,409	6,366
貸倒引当金	△642	△661
流動資産合計	3,406,057	3,147,122
固定資産		
有形固定資産	146,239	124,495
無形固定資産		
ソフトウェア	367,776	348,876
無形固定資産合計	367,776	348,876
投資その他の資産	509,595	630,316
固定資産合計	1,023,610	1,103,687
資産合計	4,429,667	4,250,810
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,997	120,447
未払金	270	5,756
未払費用	499,877	703,351
未払法人税等	40,899	-
賞与引当金	-	85,210
その他	28,035	42,415
流動負債合計	693,080	957,181
負債合計	693,080	957,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	936,499	936,499
資本剰余金	902,099	902,099
利益剰余金	1,977,347	1,533,983
自己株式	△100,139	△100,222
株主資本合計	3,715,807	3,272,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,611	1,502
為替換算調整勘定	19,168	19,765
その他の包括利益累計額合計	20,780	21,268
純資産合計	3,736,587	3,293,629
負債純資産合計	4,429,667	4,250,810

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,469,949	1,866,538
売上原価	1,038,807	908,272
売上総利益	1,431,142	958,265
販売費及び一般管理費	1,482,456	1,482,100
営業損失(△)	△51,314	△523,834
営業外収益		
受取利息	229	322
受取配当金	5	1
雑収入	1,171	829
営業外収益合計	1,407	1,154
営業外費用		
為替差損	12,774	3,815
雑損失	-	10
営業外費用合計	12,774	3,826
経常損失(△)	△62,681	△526,506
特別損失		
固定資産売却損	-	8,232
特別損失合計	-	8,232
税金等調整前四半期純損失(△)	△62,681	△534,739
法人税、住民税及び事業税	35,586	1,409
法人税等調整額	△40,751	△143,847
法人税等合計	△5,165	△142,438
四半期純損失(△)	△57,516	△392,301
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△57,516	△392,301

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△57,516	△392,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,014	△108
為替換算調整勘定	△4,562	596
その他の包括利益合計	△3,548	488
四半期包括利益	△61,064	△391,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△61,064	△391,812

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。